

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
日本工学院専門学校	昭和51年7月1日	千葉 茂	〒144-8655 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-3732-1111			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人 片柳学園	昭和25年3月1日	片柳 鴻	〒144-8650 東京都大田区西蒲田5丁目23番22号 (電話) 03-6424-1111			
目 的	テレビ、映画、映像コンテンツを始め、幅広い映像業界をリードする「基礎力、技術力、人間力」を身に付けることを目的とする。					
分野	課程名	学科名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
文化・教養	芸術専門課程	放送・映画科	2年(昼)	1740単位時間 (又は73単位)	平成21年文部科学大臣告示第22号	—
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1020単位時間 (又は51単位)	-単位時間 (又は単位)	-単位時間 (又は単位)	960単位時間 (又は32単位)	-単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
320人	477人	8人	23人	31人		
学期制度	■前期：4月1日～9月30日 ■後期：10月1日～翌年3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無 ■成績評価の基準・方法について ・成績評価の方法 授業日数の4分の3以上出席し、試験を受験する。 ・成績評価の基準 S：90点以上 A：80～90点 B：70～79点 C：60～69点 D：59点以下は不合格 P：単位認定	

長期休み	<p>■学年始め： 4月1日</p> <p>■夏 季： 7月21日～8月31日</p> <p>■冬 季： 12月23日～翌年1月8日</p> <p>■春 季 3月18日～3月31日</p> <p>■学 年 末： 3月31日</p>	卒業・進級条件	<p>・進級条件</p> <p>①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること</p> <p>②所定の授業科目に合格していること</p> <p>③期日までに学費等を全額納入していること</p> <p>・卒業要件</p> <p>①各学年の授業日数の4分の3以上出席していること</p> <p>②所定の授業科目に合格していること</p> <p>③期日までに学費等を全額納入していること</p>
生徒指導	<p>■クラス担任制 (有)・無</p> <p>■長期欠席者への指導等の対応 当日中に担任から電話・メール等で連絡することを基本とし、状況に応じてだが数日続いた時点で保護者に連絡をするなどの指導をしている。</p>	課外活動	<p>■課外活動の種類 東京ビデオフェスティバル 春宵の響</p> <p>■サークル活動 (有)・無</p>
就職等の状況	<p>■主な就職先、業界等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)日放 ・四季(株) ・(株)テレビ東京コマーシャル ・(株)白川プロ ・(株)オムニバスジャパン <p>■就職率^{※1} 89.1%</p> <p>■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 86.1%</p> <p>■その他 (任意)</p> <p>(平成25年度卒業者に関する平成26年3月時点の情報)</p>	主な資格・検定	<p>ビジネス著作権検定 ビジネス能力検定ジョブパス 映像音響処理技術検定 色彩検定 他</p>
中途退学の現状	<p>■中途退学者20名 ■中途退学率4.26%</p> <p>平成24年 4月 1日在学者470名 (平成24年 4月入学者を含む)</p> <p>平成25年 3月31日在学者450名 (平成25年 3月卒業生を含む)</p> <p>■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更、体調不良、病気療養</p> <p>■中退防止のための取組 担任による指導の他、経済面では学費・奨学金相談窓口を設け、学生生活においてはカウンセリングルーム等を設け個々の学生に適した指導・助言・相談等を行っている。</p>		
ホームページ	URL: http://www.neec.ac.jp		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとする。

② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。

③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の

進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

映像業界をリードする人材を輩出すべく、未来を見据えた最新の技術と機材選定に於ける助言、カリキュラム等のアドバイスをいただく。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名 前	所 属	任 期
渡久山 健	一般社団法人 日本映画テレビ技術協会 一般会員	平成27年3月31日
西 邦夫	株式会社 イメージスタジオ・イチマルキュウ 営業担当部長	平成27年3月31日
千葉 茂	日本工学院専門学校 学校長	平成27年3月31日
遠山 一明	日本工学院専門学校 副校長	平成27年3月31日
佐藤 充	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ カレッジ長	平成27年3月31日
高沢 敦博	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ 科長	平成27年3月31日
上遠野 順子	日本工学院専門学校 クリエイターズカレッジ 主任	平成27年3月31日
只埜 洋樹	日本工学院専門学校 教育・学生支援部 次長	平成27年3月31日

(開催日時)

第1回 平成26年3月25日 12:00~13:00 13:10~13:40

第2回 平成26年9月11日 16:00~17:00 17:10~17:40

第3回 平成27年3月(予定)

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

実習・演習に於いて、より今の現場の空気感を取り入れる。

学生の就職への意識を高め、リアリティを持って取り組んでもらう。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
放送映画科演習1	映像制作のための基礎技術の習得。	株式会社コスモ・スペース
放送映画科演習2	映像制作のための基礎技術の習得。	株式会社コスモ・スペース

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

映像業界における技術革新の流れは速く、常に最先端の情報を収集し教育に反映させる必要がある。未来の映像業界をリードしていく人材を育成するには、高度な技術と豊かな発想力、異なる職種や異文化についても理解を深め協調していく姿勢を持った人材を育成していくことが重要と考える。そのための教員研修の実施が不可欠と位置付ける。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成26年9月26日現在

名 前	所 属	任期
桂田 忠明	セントラル電子制御株式会社 代表取締役社長	平成27年3月31日
工藤 俊一郎	公益財団法人 放送番組センター 専務理事	平成27年3月31日
藤本 昌之	株式会社エンドレスエコー 代表取締役	平成27年3月31日
高橋 修	東京実業高等学校 進路指導副部長	平成27年3月31日
正木 英治	株式会社マックス 専務取締役	平成27年3月31日
前原 恵子	トレランスアクト株式会社 代表取締役	平成27年3月31日
小澤 賢侍	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部 セクションチーフ	平成27年3月31日
今泉 裕人	一般社団法人 コンサートプロモーターズ協会 事務局長	平成27年3月31日

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/pdf/h26_kekka.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: http://www.neec.ac.jp/news/131129/pdf/h26_siryo.pdf

授業科目等の概要

(芸術専門課程 放送・映画学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			キャリアデザイン1	就職・デビューなど進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1・前	15	1	○		
○			キャリアデザイン2	就職・デビューなど進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	1・後	15	1	○		
○			一般教養A1	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1・前	15	1	○		
○			一般教養A2	社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身につけ、就職対策、検定対策を学びます。	1・後	15	1	○		
○			一般教養B1	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1・前	15	1	○		
○			一般教養B2	映像における放送史、映画史、また時事問題などを学びます。	1・後	15	1	○		
○			一般教養C1	クリエイターに必要な言語、著作権、また基本的なPCソフトなどを学びます。	1・前	15	1	○		
○			一般教養C2	クリエイターに必要な言語、著作権、また基本的なPCソフトなどを学びます。	1・後	15	1	○		
○			放送映画リテラシーA1	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・前	15	1	○		
合計										
				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(芸術専門課程 放送・映画学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			放送映画リテ ラシーB 1	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、 制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・ 前	15	1	○		
○			放送映画リテ ラシーB 2	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、 制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・ 後	15	1	○		
○			放送映画リテ ラシーC 1	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、 制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・ 前	15	1	○		
○			放送映画リテ ラシーC 2	TV、映画、舞台におけるカメラ、音声、照明、編集、 制作、美術などの基礎的知識を学びます。	1・ 後	15	1	○		
○			映像技術 1	「映画」「テレビ」「個人映像」「美術製作」など映 像表現のための基礎知識を学びます。	1・ 前	30	2	○		
○			映像技術 2	「映画」「テレビ」「個人映像」「美術製作」など映 像表現のための基礎知識を学びます。	1・ 後	30	2	○		
○			映像制作 1	映像鑑賞をすることにより、作品制作のテクニック を学びます。	1・ 前	30	1			○
○			映像制作 2	映像鑑賞をすることにより、作品制作のテクニック を学びます。	1・ 後	30	1			○
○			放送映画演習 1	各コースやテーマ別に実習を通して映像制作の基 礎を修得する。	1・ 前	240	8			○
合計										
				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(芸術専門課程 放送・映画学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			番組制作1	「作品を作る」という目的で、実践的に映像制作を学びます。	1・前	60	2			○
○			番組制作2	「作品を作る」という目的で、実践的に映像制作を学びます。	1・後	60	2			○
		○	ワークショップ1	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	1・前	30	1			○
		○	ワークショップ2	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	1・後	30	1			○
○			キャリアデザイン3	就職・デビューなど進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・前	15	1	○		
○			キャリアデザイン4	就職・デビューなど進路に関わる知識習得・情報収集などを学びます。	2・後	15	1	○		
○			放送映画リテラシーD1	TV、映画にとどまらない作品研究を行い映像を学びます。	2・前	15	1	○		
○			放送映画リテラシーD2	TV、映画にとどまらない作品研究を行い映像を学びます。	2・後	15	1	○		
○			放送映画リテラシーE1	「美」「心理」という視点からメディアコミュニケーション全般を学びます。	2・前	15	1	○		
合計					科目	単位時間 (単位)	

授業科目等の概要

(芸術専門課程 放送・映画学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
○			放送映画リテ ラシーF 1	映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリー など構成と演出について学びます。	2・ 前	15	1	○		
○			放送映画リテ ラシーF 2	映像作品のドラマ、バラエティ、ドキュメンタリー など構成と演出について学びます。	2・ 後	15	1	○		
○			映像技術 3	映像制作の応用技術を学びます。	2・ 前	30	2	○		
○			映像技術 4	映像制作の応用技術を学びます。	2・ 後	30	2	○		
		○	特別講義 1	映画の鑑賞や、番組制作担当者から現場の様々な体 験談を聞きます。	2・ 前	30	2	○		
		○	特別講義 2	映画の鑑賞や、番組制作担当者から現場の様々な体 験談を聞きます。	2・ 後	30	2	○		
○			放送映画演習 3	各コースやテーマ別に実習を通して映像制作を行 います。	2・ 前	240	8			○
○			番組制作 3	映像制作の応用技術を学びます。	2・ 前	60	2	○		
○			番組制作 4	「作品を作る」という目的で、実践的に映像制作を 学びます。	2・ 後	60	2	○		
合計										
				科目	単位時間 (単位)					

授業科目等の概要

(芸術専門課程 放送・映画学科) 平成 26 年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法		
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技
		○	ワークショップ 4	クリエイターのためのテーマごとの講座です。	2・ 後	30	1	○		
		○	インターンシ ップ	企業が実施する研修に参加し、現場作業を体験しま す。	2・ 通	60	2	○		
○			卒業制作	2年間の集大成とし、映像作品または舞台の制作を 行います。	2・ 後	270	9	○		
合計					43 科目	1980	単位時間 (83	単位)	